

JICAボランティア さくらの你好通信

ボラみみ
スタッフ発!

新連載
第1回

PROFILE

黒川さくら

2016年、ボラみみ編集スタッフに加入。2017年3月名古屋学院大学卒業後、青年海外協力隊に参加。8月より日本語教師として中華人民共和国黒龍江省にあるハルビン市朝鮮族第一中学へ赴任。2019年7月までの約2年間、同校の中高生に日本語及び日本文化を教える。



ボラみみ編集スタッフ、どうして中国に?!

中学1年生の頃、図書館で手に取った一冊の本が今でも忘れられません。それは、アフリカの飢餓の子どもたちを撮った写真集です。そこには、貧しくやせ細っている子どもだけではなく、貧しい環境ながらも満面の笑みの子どもたちもいました。その時から私の頭の片隅には、途上国に行って困っている人たちの力になりたいという願望が、何となくですが、ありました。

そんな時、中学1年生の私の人生を変える大きな出来事が2つ起こったのです。

1つは、出身地である愛知県小牧市からアフリカのタンザニアへ行くという市の派遣事業に参加できたことです。初めての海外、初めての途上国であったタンザニアは、私に何もできない無力感ともっと知りたいという好奇心を与えてくれました。

もう1つの出来事は、JICA(独立行政法人日本国際機構)の元青年海外協力隊員の話聞く機会があったことです。当時通っていた小牧市光ヶ丘中学校には、「夜の光中」という課外授業がありました。生徒だけではなく近所の方も参加できるその授業に、元青年海外協力隊員が来てくれたのです。私が途上国やボランティアに興味を持っていることを知っていた母親が教えてくれて、一緒に参加しました。そして、話を聞いたあとに、「いつか私も途上国に行ってボランティアするんだ」と。

その後、途上国やJICAについて学べる名古屋学院大学の外国語学部国際文化協力学科に進学し、さまざまな知識をつける中で、日本語を教えるという日本語教育に出会いました。そして、大学卒業後は新卒で青年海外協力隊の道へと進み、2017年7月から中華人民共和国へ日本語教師として派遣されています。

私がずっと興味を持っていたJICAの青年海外協力隊は、20歳から39歳までの若者をアフリカや東南アジア等の途上国に送り、現地の人と同じ言葉をしゃべり、また衣食住を共にする中で現地の発展に貢献したり、帰国後に日本の発展に貢献することなどを目的としたボランティア団体です。そのため、派遣される前の4月から2か月間、福島県二本松市で派遣地の現地語である中国語を一生懸命勉強しました。それだけではなく、途上国に行くにあたっての知識やJICAボランティアとは何かについても講義で学びました。すべての訓練を終えて、中国へと派遣されたのです。

私の配属先は、中国最北部にある黒龍江省ハルビン市。そこには朝鮮族の集落があり、その集落にあるハルビン市朝鮮族第一中学という中高一貫校です。校内では中国語だけでなく朝鮮語も話され、少しでも朝鮮語が分かるようになりたいなど日々思っているところです。

私がここへ派遣された目的は、文字通り日本語を教えるということですが、日本語とひとくくりに言っても、読み書きや聞き取り、会話、その他に日本文化の紹介などがあります。日本を紹介しながら思うことは、いつか彼らが日中友好の懸け橋となり、今以上に手を取り合える両国民が増えるといふことなのです。

これから10回にわたって、中国JICAボランティア隊員の很惊讶な日々をお届けする予定です。お楽しみに!

(次回は5月号)

很惊讶...びっくり! 驚いた! という意味です。



第46回

企業の社会貢献活動の現場から

隔月で、地元企業の社会貢献活動について、各担当者に自社の社会貢献活動を紹介していただいています。第46回となる今回は、東陽倉庫株式会社です。

地元地域とアジア諸国への社会貢献活動をしています

東陽倉庫株式会社 総務部 佐々木 孝晃

東陽倉庫は、社是のひとつである「共生:社会との調和、ステークホルダーを大切にする会社」という理念のもと、さまざまな社会貢献活動をしています。今回は活動の中から、地元地域とアジア諸国への取り組みをご紹介します。

地元地域に貢献する活動

当社は株主総会のお土産として、営業所が所在する地域の障害者福祉施設の方々の製品をお配りしています。障害者の方々を支援するとともに、株主さまに高品質な手作りの巾着をはじめとした縫製品を使用していただくことで、製品への理解を深めていただきたいと考えております。



アジア諸国に貢献する活動

アジアの途上国(ミャンマー、カンボジアなど)の子どもたちへの教育支援の一環として、日本の絵本に現地語の翻訳シールを貼って贈る活動に参加しています。できあがった絵本には、社員が自分の名前を現地語で記載し、途上国の子どもたちの現状を考える機会にもなっています。これは公益社団法人シャンティ国際ボランティア会の「絵本を届ける運動」に賛同したものです。



東陽倉庫株式会社
名古屋市中村区名駅南2-6-17 TEL:052-581-0251

..... 次回は、グリーンハウスグループ ジー・エイチ・ホスピタリティフードサービス中部株式会社をご紹介します。

新団体紹介

隔月で、設立1年未満の団体紹介をしています。NPOやボランティア活動がより身近に感じられるよう、様々な分野の団体を取り上げていきます。

NPO法人D-Project

団体設立	代表者	連絡先	活動分野
2017年7月20日	福岡 大嗣	名古屋市北区金田町5-11-7 E-mail:npo.dproject@gmail.com URL:https://peraichi.com/landing_pages/view/jetjx	スポーツ / 青少年医療
活動目的	活動内容	団体PR	
子どもから高齢者を対象に、スポーツや運動の啓発・普及に関する事業を行い、運動機能の低下によるけがの予防や健康増進、体力の向上を目指します。また、指導者の養成や育成を促進することで、活力ある社会づくりに貢献することを目的としています。	(1)フィジカルチェックや運動指導教室の開催 (2)運動指導者・トレーナー向けの養成講習会の開催 (3)運動指導者・トレーナー派遣事業	子どもたちのけがを予防するだけではなく、元気にスポーツができる喜び、選手としての夢の実現、スポーツを通しての成長を支援する活動をしています。また、保護者・医療機関・地方行政など、子どもたちを取り巻くあらゆる人々を“繋ぎ”、地域全体で子どもたちを支える環境づくりと一緒に実現しましょう!	

ボラ募集 フィジカルチェック会場で、設営や片付け、フィジカルチェックの記録・データ入力を行ってくださるボランティア募集中です! 特に資格の有無は問いません。一緒に子どもたちのために活動したいという熱意のある方をお待ちしています。(担当:福岡)